

## 第3章 第2次計画の推進状況の点検

### ◎目標指標の達成状況

- (点検・1) 住民の主体的参加の仕組みづくり
- (点検・2) 地域に根ざした課題解決の仕組みづくり
- (点検・3) サービス利用に対するきめ細かな支援
- (点検・4) 健康で安心して暮らせるまちづくり



## 【第3章 第2次計画の推進状況の点検】

### ◎目標指標の達成状況

#### (1) 市民意識調査結果による指標の達成状況

第2次計画では市民意識調査結果から把握する指標を13項目掲げていた。今回の調査結果(平成28年度実施)は、ほとんどの項目で平成24年度の現状値から僅かに下がっているが、概ね変化なく横ばいと捉えられる。(指標のうち3項目は、今回の調査で比較できず)

達成はしていないが平成24年度時点より上がった項目は、「市民が利用しやすい公共施設の立地について」、「利用しやすい相談・情報提供体制が整った」(以上2項目は微増)、「防災体制・組織の体制が良い方だと思う市民」、「民生委員・児童委員の認知度」であった。

反対に、下がった項目は「清掃活動や地域行事等の地域活動へ参加している市民の割合」、「介護などが必要な場合にサービスを受けるためにどうしたら良いか知っている市民の割合」、「60歳以上の市民が通勤や買い物の利便性が良い方だと思う割合」であった。

なお、今回の市民意識調査では、市内居住年数15年以上の人の割合が前回調査時点より微減した。そして5年未満の市内居住者が微増している。「若い世代」、「アパート世帯」、「居住年数が短い人」は、自治会加入や地域福祉活動に消極的な傾向が見られる。居住年数が短い人が増えた＝アパート世帯や若い世代が増えたことにつながり、地域福祉に積極的な声が減った一つの要因にもなっていると考えられる。

#### (2) 取り組みの実績による指標の達成状況

第2次計画では、取り組み実績から把握する指標も13項目掲げていた。今回の調査結果は、多くの項目で平成24年度の現状値より28年度実績が上回っており、取り組みは推進されていることがわかる。しかし、第2次計画で掲げていた目標値を達しているのは「地域防犯組織数」と「市民の健康づくりの場」の2項目だけであり、推進はされているが目標まで届いていない指標が多くなっている。

達成はしていないが平成24年度時点より上がった項目は、「豊見城市地域見守り隊提携数」、「地域の実情に応じた“ゆくい場”の整備箇所」、「地域福祉推進委員会の設置数」、「特定健診の受診率」、「特定保健指導の実施率」(微増)、「福祉避難所の指定箇所数」であった。

反対に、下がった項目は「自治会加入率」、「ボランティア団体登録数」、「民生委員児童委員の定数確保」であった。

地域福祉の推進において重要である自治会加入率や民生委員児童委員の定数確保に課題があり、第3次計画を作るにあたってはこれらの課題解決に向けた取り組みを検討する必要がある。

・市民意識調査結果による指標一覧

	指標	平成 24年度 時点	目標値	現状値	項目	前回調 査項目 (設問)	今回調 査項目 (設問)
			平成 29年度	平成 28年度			
1	「地域住民がお互いに協力して、住みやすい地域に行かなければならない」と思う市民の割合	89.5%	90.0%	88.1%	基本目標1 住民の主体的参加の仕組みづくり 推進方策1 人と人がつながる、支え合う意識を育む (1) 地域福祉への関心を高める福祉教育の充実	問22	問21
2	隣近所と接する機会が増えたと感じる市民の増加	—	65.0%	—	なし	なし	なし
3	あいさつを交わす市民が増えたと感じる割合	—	75.0%	—	なし	なし	なし
4	地域に「愛着」を感じている市民の割合 (地域に「愛着」を持つ市民の割合)	69.7%	75.0%	68.9%	基本目標1 住民の主体的参加の仕組みづくり 推進方策2 地域がつながる、活力をつける (1) 地域に愛着を持つ意識の啓発	問11	問9
5	清掃活動や地域行事等の地域活動へ参加している市民の割合 (地域活動に参加する市民の割合)	29.7%	50.0%	25.5%	基本目標1 住民の主体的参加の仕組みづくり 推進方策2 地域がつながる、活力をつける (2) 地域活動への参加を促す啓発活動の推進	問20	問20
6	ボランティア活動に参加している市民の割合 (ボランティア活動に参加する市民の割合)	12.7%	20.0%	40.3%	基本目標1 住民の主体的参加の仕組みづくり 推進方策3 地域福祉の人材の育成、確保 (1) 福祉を担う多様な担いの手の育成	問23	問23
7	市民が利用しやすい公共施設の立地について「良い方だ」と思う市民の割合	10.7%	50.0%	13.1%	基本目標2 地域に根ざした課題解決の仕組みづくり 推進方策2 地域資源と福祉活動をつなげる仕組みづくり (1) 利用しやすい活動拠点の確保、整備	問13-8	問11-8
8	介護などの日常生活における支援が必要となった場合、必要なサービスを受けるためにどうしたらよいか知っている市民の割合	49.1%	60.0%	47.3%	基本目標3 サービス利用に対するきめ細かな支援 推進方策1 地域に根ざしたサービス利用の推進 (1) 地域福祉サービスの質の向上	問26	問25
9	利用しやすい相談、情報提供体制が整ったと思う市民の割合 (「普通だと思う」「良い方だと思う」の合計割合)	49.1%	60.0%	50.3%	基本目標3 サービス利用に対するきめ細かな支援 推進方策1 地域に根ざしたサービス利用の推進 (2) 情報提供体制の充実、(3) 相談支援体制の充実	問13-7	問11-7
10	豊見城市が「住みよい」と思う市民の割合 (住みよいと感じる市民の割合)	55.4%	65.0%	54.6%	基本目標4 健康で安心して暮らせるまちづくり 推進方策2 安全・安心のまちづくり (1) 住みよい生活環境づくりの推進	問12	問10
11	60代以上の市民が通勤や買い物物の利便性が「良い方だ」と思う割合	40.5%	50.0%	33.0%	基本目標4 健康で安心して暮らせるまちづくり 推進方策2 安全・安心のまちづくり (2) 移動支援、交通安全対策の充実	問13-6	問11-6
12	防災体制・組織の体制が「良い方だ」と思う市民の割合 (「普通だと思う」「良い方だ」と思うの合計割合)	35.7%	60.0%	44.3%	基本目標4 健康で安心して暮らせるまちづくり 推進方策2 安全・安心のまちづくり (3) 地域の防犯、防災対策の充実	問13-9	問11-9
13	民生委員・児童委員の認知度	59.9%	70.0%	67.5%	なし	問33	問31

・取り組みの実績による指標一覧

	指標	平成 24年度 時点	目標値	現状値	項目	指標の根拠	担当課
			平成 29年度	平成 28年度			
1	地域防犯組織数	52	55以上	58	基本目標1 住民の主体的参加の仕組みづくり 推進方策1 人と人がつながる、支え合う意識を育む (2)誰でも気軽に参加できる交流機会の確保	市総合計画	協働のまち推進課
2	自治会加入率	34.4%	40%以上	31.2%	基本目標1 住民の主体的参加の仕組みづくり 推進方策2 地域がつながる、活力をつける (3)自治会活動の活性化	市総合計画	協働のまち推進課
3	ボランティア団体登録数 (福祉関連)	14	18	12	基本目標1 住民の主体的参加の仕組みづくり 推進方策3 地域福祉の人材の育成、確保 (2)ボランティア活動の活性化支援	事業実績	社会福祉協議会
4	「豊見城市地域見守り隊」提携数	1	5	4	基本目標2 地域に根ざした課題解決の仕組みづくり 推進方策1 地域の見守り体制づくり (1)地域の見守りネットワーク形成	事業実績	社会福祉課
5	地域の実情に応じた「ゆ くい場」の整備箇所	37ヶ所	45ヶ所	40ヶ所	基本目標2 地域に根ざした課題解決の仕組みづくり 推進方策1 地域の見守り体制づくり (2)気軽にゆくい場の確保(居場所づくり)	事業実績	社会福祉協議会
6	コミュニティソーシャルワ ーカーの配置人数	3人	7人	3人	基本目標2 地域に根ざした課題解決の仕組みづくり 推進方策1 地域の見守り体制づくり (3)コミュニティソーシャルワーク機能の充実	事業実績	社会福祉課又は 社会福祉協議会
7	地域福祉推進委員会の設置数 【再掲】	37	48	40	基本目標2 地域に根ざした課題解決の仕組みづくり 推進方策2 地域資源と福祉活動をつなげる仕 組みづくり (2)福祉関係団体等の連携	事業実績	社会福祉協議会
8	民生委員・児童委員の定数 確保	73	89	68	基本目標2 地域に根ざした課題解決の仕組みづくり 推進方策2 地域資源と福祉活動をつなげる仕 組みづくり (3)民生委員・児童委員活動の充実	事業実績	社会福祉課
9	ジェンダーについて内容を 理解している人の割合	32.1% (H21)	40.0%	— ※調査なし	基本目標3 サービス利用に対するきめ細かな 支援 推進方策2 一人ひとりを尊重する権利擁護の 推進 (1)個人の尊厳と権利を守る仕組みづくり	総合計画 男女共同参 画プラン	協働のまち推進課
10	特定健診の受診率	25.3%	60.0%	35.9%	基本目標4 健康で安心して暮らせるまちづくり 推進方策1 健康づくりへの取組み (1)健康づくりに対する理解の促進	国の目標値	健康推進課
11	特定保健指導の実施率	48.2%	60.0%	48.7%		国の目標値	
12	市民の健康づくりの場 (ミニデイ実施箇所、ウォー キング場所、市体育館等)	0	30	39(社協) 0(健推) 5(学振)	基本目標4 健康で安心して暮らせるまちづくり 推進方策1 健康づくりへの取組み (2)健康づくりの場の整備	事業実績	社会福祉協議会 健康推進課 生涯学習振興課
13	福祉避難所の指定箇所数	0	10ヶ所	7ヶ所	基本目標4 健康で安心して暮らせるまちづくり 推進方策2 安全・安心のまちづくり (4)災害時要援護者支対策の充実	事業実績	障がい・長寿課

(点検・1) 住民の主体的参加の仕組みづくり

(点検1-1) 人と人がつながる、支え合う意識を育む

【基本方針】

(点検1-1-1) 地域福祉への関心を高める福祉教育の充実

<共助>

<p>共助①福祉教育の場を設ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各種関係団体と連携し福祉教育の場を設けます。</li> <li>・ボランティア祭りにおけるボランティア団体等の市民への周知を行った。</li> </ul>	
<p>共助②福祉体験活動等による福祉教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小中学校、地域と連携し福祉体験活動などを通じた福祉教育の充実に努めます。</li> <li>・市内小中学校への福祉体験、福祉講話を実施している。</li> </ul>	
<p>共助③ボランティア講座や研修会等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ボランティア活動に積極的に参加することができるように、関係団体等と連携した講座や研修会等の充実に努める。</li> <li>・音訳ボランティア養成講座、ゲートキーパー養成研修会等を実施している。</li> </ul>	
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協では、市内小中学校への福祉教育、音訳ボランティア等の養成や研修会を実施しており、今後も継続して実施できると考える。</li> <li>・小中学校では、「福祉協力校」についてもふれていきたい。</li> </ul> <p>&lt;共助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続実施で掲げる</li> </ul>

<公助>

<p>公助①市民への福祉教育・人権教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民のライフステージに応じた福祉教育、人権教育を推進します。</li> <li>・学校において発達段階に応じたテーマで人権に関する授業やいじめアンケートの実施。</li> </ul>	
<p>公助②福祉教育プログラムの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○関係機関と連携した福祉教育プログラムを充実していきます。</li> <li>・総合的な学習の時間の中で、「福祉」について調べ学習や他県学習を行っている。また、募金活動や学校周辺の美化等も行っている。</li> </ul>	
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉教育では「大人に対する取り組み」と、「児童生徒に対する取り組み」に分けられるため、区別できるような項目設定としたい。</li> <li>・市民向けの福祉教育について、担当課がどこに当たるか、また取組内容について今後調整を行い、施策を検討する。</li> </ul> <p>&lt;公助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「児童生徒への福祉教育」、「大人への福祉教育」を区分して掲げる</li> </ul>

(点検1-1-2) 誰でも気軽に参加できる交流機会の確保

<共助>

	<p>共助①あいさつ運動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域と連携して「あいさつ運動」を推進します。</li> <li>・未実施(実施予定)となっている。</li> </ul>
	<p>共助②地域行事や活動を通じた交流機会確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の関係団体と連携し、地域行事や活動等を通じた交流機会を確保します。</li> <li>・社協で「世代間ふれあい地域交流会」や自治会と協力しての交流会を開催した(参加者が少ないという課題がある)。また、学校教育課では、学校行事等における地域との関わり、教科学習での自治会、老人会との交流を実施。</li> </ul>
	<p>共助③若い世代が地域住民と交流する機会確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○若い世代が地域住民と交流する機会の場を確保します。</li> <li>・社協で上記交流会と同様の内容を実施。</li> </ul>
	<p>共助④“みーまーる運動”等の普及啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市、関係機関と連携し、「みーまーる運動」などの普及啓発活動を進めます。</li> <li>・夜間パトロールや朝の交通安全指導、朝の声かけなどを実施。</li> </ul>
	<p>共助⑤交流事業、気軽に集まる交流場所の開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民の多様な交流を活性化していくための交流事業の企画立案や気軽に集まることができる交流場所の開拓を進めます。</li> <li>・親子クラブやチャレンジクラブ、三線クラブなど交流活動を実施。地域のコミュニティセンターも交流の場となっているが、豊見城中学校区には児童館等の交流拠点がなく課題となっている。</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動は社協では実施予定であり、今後実施できると考える。</li> <li>・共助②と③は類似しているため、ひとつにした「交流機会の確保」を掲げる。</li> <li>・見守り活動は夜間パトロールや朝の交通安全指導、朝の声かけなどを実施しており、今後も継続できる。</li> <li>・「みーまーる運動」は、第3次計画でどのように掲げるかが課題。</li> <li>・交流活動は現在のものを継続していける。交流の場の開拓や実施について検討する。(現在は主にコミュニティセンターを使用)</li> </ul> <p>&lt;共助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動は継続して掲げる。</li> <li>・見守り活動も継続して掲げる</li> <li>・交流機会は取り組みを整理した上で掲げる</li> </ul>



<公助>

	<p>公助① “みーまーる運動” 等の企画、普及啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○関係機関と連携し、「みーまーる運動」等の企画、普及啓発活動を進めます。</li><li>・学校訪問時の児童や先生への「声かけ・あいさつ運動」の実施を行った。</li></ul>
	<p>公助②地域活動組織の強化・育成</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○住みよいまちづくりを推進するため、地域活動組織の組織強化・育成とその活動を支援します。</li><li>・市民活動団体の創意工夫にあふれた企画・事業に対し補助金を交付した。</li></ul>
考え方	<ul style="list-style-type: none"><li>・「みーまーる運動」という言葉を見守り活動のネーミングとして使用するか検討が必要。使用するのであれば、「みーまーる運動と呼ぶ」ことを広く周知する必要がある。</li><li>また、「みーまーる」＝見守りの捉え方。高齢者の見守りのみに感じられる。子どもや隣近所の見守り、つながりなど広く捉える必要があるのではないか。そのとき、「みーまーる」というネーミングで通じるのか検討が必要。</li><li>・地域活動組織の強化・育成は今後も継続して取り組む。</li></ul> <p>&lt;公助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・見守り活動は今後も掲げるが、「みーまーる運動」という言葉で普及・啓発するかは検討を行う。</li><li>・地域活動組織の強化育成は継続して掲げる。</li></ul>





(点検 1-2) 地域がつながる、活力をつける

(点検1-2-1) 地域に愛着を持つ意識の啓発

<共助>

	<p>共助①地域の歴史・文化等を継承する活動推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域を理解し、地域へ関心を持つことができるように、各自治会と連携し地域の歴史・文化等を継承する活動を推進します。</li> <li>・社協で「実施予定」または「未定」となっている。</li> </ul>
	<p>共助②地域の歴史や文化を継承する活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各自治会と連携した地域の歴史や文化を継承する活動を支援します。</li> <li>・社協で「実施予定」または「未定」となっている。</li> </ul>
	<p>共助③地域コミュニティ意識を高めるための活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域コミュニティ意識を高めるための活動を支援します。</li> <li>・実施されており、児童生徒に対する方言遊びや昔遊び交流会(民生委員児童委員)、児童館での三線サークルなどが行われている。</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史・文化継承に関する取り組みは、社協の福祉活動分野とは異なると思われる。</li> <li>・次期計画において、この項目に社協を入れるかどうか、検討・調整を行う必要がある。</li> <li>・共助③は、児童生徒を対象とした取り組みを行っており、今後も継続できる。</li> </ul> <p>&lt;共助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史・文化継承に関しては、共助から削除する</li> <li>・地域コミュニティ意識の向上については継続して掲げる</li> </ul>

<公助>

	<p>公助①移動公民館講座等の開設支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各地域における移動公民館講座等の開設に向けた支援を行います。</li> <li>・文化課は「フィルム収集事業」の実績を上げている。</li> </ul>
	<p>公助②歴史・文化を学ぶなど地域に関心を持つ啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の歴史、文化を学ぶ機会や活動への支援を行う等地域に関心を持つ啓発活動を推進します。</li> <li>・文化課が歴史民俗資料展示室での企画展や戦跡めぐり、しまくとぅば読本の発刊を実績としてあげている。</li> </ul>
	<p>公助③地域活動組織への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域がつながり、支え合うまちづくりに向け、地域活動組織への支援を行います。</li> <li>・協働のまち推進課が自治会の視察研修支援等をあげている。文化課は拝所の保護等を実績に上げている。</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公助①・②：文化課や生涯学習振興課が担当であり、その他の課は担当課から外すことで良いと考える。</li> <li>・歴史文化について、地域福祉計画に掲げるか検討したい。</li> <li>・公助③のほか、「地域コミュニティの必要性の周知強化」などの項目も必要ではないか。また、公助③は、推進施策1-(2)の公助②と類似しており、どちらかに掲げれば良いと考える。</li> </ul> <p>&lt;公助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史・文化継承に関しては、地域福祉計画に掲げるか検討する。</li> <li>・地域活動組織の支援は、掲げる項目を精査する</li> </ul>

(点検1-2-2) 地域活動への参加を促す啓発活動の推進

< 共助 >

	<p>共助①地域行事等を若い世代に伝える交流会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域企業や福祉施設等と連携した年中行事や地域行事等を若い世代に伝える交流会を開催します。</li> <li>・社協で未実施(実施予定)となっている。</li> </ul>
	<p>共助②地域行事に参加しやすい環境を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自治会と連携し、地域行事に参加しやすい環境を整えます。</li> <li>・社協で未実施(実施予定)となっている。</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共助①と②を合わせて、「地域行事への参加を促進する取り組み」に変更していきたい</li> <li>・地域企業や福祉施設との連携は、第3次計画で「地域貢献活動の推進」として新しい項目を設けたいと考える</li> </ul> <p>&lt; 共助 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事への参加促進は、項目を整理して掲げる</li> <li>・新たに企業や社会福祉法人等の「地域貢献活動の推進」を項目立てする</li> </ul>

< 公助 >

	<p>公助①住民が地域に関わるための研修会、講座開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○住民が地域に関わりを持つことができる研修会や講座などを開催します。</li> <li>・学校教育課は自治会で行う地域教育運営委員会の開催・講師派遣を行っている。協働のまち推進課は平成26～28年度に「地域を元気にする発掘・育成研修」(人材育成研修)を実施している</li> </ul>
	<p>公助②子ども会未設置地域の設立支援等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子ども会未設置地域への設立支援を行い、子ども会活動を通して地域活動への関心を高めます。</li> <li>・「子ども会未設置地域の設立支援等」では、担当課と連携して取り組む必要がある。</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公助①：協働のまち推進課が人材育成研修を平成28年度まで実施。今後の実施について調整を図る。</li> <li>・公助②：子供会以外の団体についても参加促進や支援についてふれる必要はないか。</li> </ul> <p>&lt; 公助 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動のための人材確保等を今後も掲げるように調整を行う</li> <li>・子供会のほか、老人クラブ、青年会等の団体の設立や再開支援を掲げる</li> </ul>

## (点検1-2-3) 自治会活動の活性化

### < 共助 >

	<p>共助①自治会活動内容の情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自治会と連携し自治会活動内容等の情報提供を行い、自治会加入を促進します。</li> <li>・社協で未実施(実施予定)となっている。</li> </ul>
	<p>共助②若い世代の意見等を取り入れる機会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○若い世代を自治会の活力として取り組んでいくため、若い世代の意見や考えを取り入れる機会や「ゆくい場」を整備します。</li> <li>・社協で未実施(実施予定)となっている。</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の加入促進(若い世代も含めた)については、現在実施されていないが、今後は実施予定となっている。社協だよりを活用するなどの情報提供は可能と考える。</li> </ul> <p>&lt; 共助 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会活動の活性化は重要であり、取り組みについて今後検討する。</li> </ul>

### < 公助 >

	<p>公助①地域づくりの企画提案制度について検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域づくりの企画提案制度の在り方を検討します。</li> <li>・協働のまち推進課では平成27年度より自治会が企画提案した事業に対し、補助金を交付している。</li> </ul>
	<p>公助②自治会情報を多様な媒体を活用して提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自治会情報を多様な媒体を活用してわかりやすく提供します。</li> <li>・協働のまち推進課が自治会加入促進CD配布やチラシ配布等を行っている。文化課の取組内容は自治会情報の発信と異なっていると思われる(『豊見城市の戦跡』の発刊をあげている)。</li> </ul>
	<p>公助③地域活動の先進事例紹介など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域活動の先進事例を紹介するなど、地域づくり(自治会の活性化)に関する情報提供を行います。</li> <li>・協働のまち推進課では自治会長会の年1回の視察研修を行っている。</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次計画では地域活動参加啓発と自治会加入促進を合わせてはどうか。(「地域活動の活性化」の中に「自治会加入や地域活動への参加促進」、「自治会活動の活性化」と入れ込むなど)</li> </ul> <p>&lt; 公助 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会活動の活性化について、取り組みを検討する。</li> <li>・地域づくりの企画提案は今後も継続で掲げる</li> </ul>

## (点検 1-3) 地域福祉の人材の育成、確保

### (点検1-3-1) 福祉を担う多様な担い手の育成

#### < 共助 >

	<p>共助①福祉人材の掘り起こし等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○各自治会の地域福祉推進委員会と連携し、福祉人材の掘り起こし等に努めます。</li><li>・生活支援コーディネーターが地域ミニデイサービスや福祉団体の会議等に参加する中で、地域人材の把握等を行っている。</li></ul>
	<p>共助②ボランティア活動の情報提供や研修会等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○目的に応じたボランティア活動に対する情報提供や知識、技術を習得するための各種研修会や講座を開催します。</li><li>・認知症サポーター養成講座、手話講座等を開催。受講者がボランティア活動につながらないという課題が見られる。</li></ul>
考え方	<ul style="list-style-type: none"><li>・各種養成講座、ボランティアの推進などにより担い手の育成と確保を継続して実施する必要がある</li></ul> <p>&lt; 共助 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・継続実施で掲げる</li></ul>

#### < 公助 >

	<p>公助①福祉活動の担い手育成プログラムづくり</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○福祉活動の担い手を育成していくため、関係機関と連携し育成プログラムづくりを進めます。</li><li>・社会福祉課、子育て支援課が「未定」。(社会福祉課では必要に応じて社協をサポートすると回答している)</li></ul>
	<p>公助②福祉人材や人的資源掘り起こし</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○生涯学習等の多様な福祉学習プログラムを活用した福祉人材や潜在的な人的資源の掘り起こしに努めます。</li><li>・子育て支援課では「ファミリーサポートセンター」の「保育サポーター」養成を行い、育児援助の人材確保に努めている(預けたいというニーズに対応必要)。また保育士資格取得講座を実施(受講者はいたが資格取得者なし)。</li></ul>
	<p>公助③ボランティア休暇制度の普及によるボランティアに参加しやすい環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○関係機関と連携しボランティア休暇制度の普及啓発に努め、ボランティア活動に参加しやすい環境づくりに取り組みます。</li><li>・普及啓発の実施がなく、課題となっている。</li></ul>
	<p>公助④専門知識を活かした福祉人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○社会福祉施設等を福祉教育の場として活用し、専門知識を活かした福祉人材を育成する仕組みづくりを行います。</li><li>・手話通訳者の配置や手話奉仕員の養成、子育てサポーター養成など、福祉部の関係各課のなかで、それぞれ人材育成に関する取り組みを行っている。</li></ul>

考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公助①：第3次計画では見直しを行い、削除または公助②と合わせるなど調整が必要と考える。</li> <li>・公助②：養成や確保の状況等について福祉関係課に再度確認し、第3次計画への示し方を検討する。</li> <li>・公助③：「ボランティア休暇の普及」は、各個人、企業次第という面もあるため普及が難しい。第3次計画では削除し、他の対策を掲げる等調整したいと考える。</li> <li>・公助④：関係課と調整しながら、具体的な「福祉人材」（どんな専門職の育成できるか）の育成等について掲げたい。（公助②と合わせるか検討）</li> </ul> <p>&lt;公助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉関係部署と調整しながら、必要な取り組みについて精査し、項目を見直す</li> </ul>
-----	--

### (点検1-3-2) ボランティア活動の活性化支援

#### <共助>

	<p>共助①ボランティア活動の情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各種ボランティア団体と連携し、市内で行われているボランティア活動の情報を提供します。</li> <li>・ボランティア祭りや社協ロビーへのパネル展示による活動周知を行った。</li> </ul>
	<p>共助②ボランティア研修や講座開催等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各種ボランティア研修や講座の開催、ボランティアメニューの充実に努めます。</li> <li>・音訳ボランティア養成講座、ゲートキーパー養成研修会などを実施。（ゲートキーパー研修会：67人参加、音訳ボランティア養成14人）</li> </ul>
	<p>共助③ボランティアセンターの機能拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○目的に応じた多様なボランティア活動を推進していくため、ボランティアセンターの機能拡充に取り組みます。</li> <li>・ボランティア連絡協議会を中心に、各種ボランティアの依頼を受け、ボランティアを派遣した。（H27年度 9件派遣）</li> </ul>
	<p>共助④ボランティア団体への活動費助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ボランティア団体に対する活動費を助成します。</li> <li>・ボランティア団体に助成金を交付。（H27年度に6団体）</li> </ul>
考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで同様、ボランティアセンターを中心としてボランティア活動のための支援等を行う。</li> <li>・小中学校はボランティア協力校として実施しているため、これについてもふれる必要があると考える。</li> </ul> <p>&lt;共助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続実施で掲げる</li> </ul>

<公助>

<p>公助①ボランティア団体への活動費助成等支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ボランティア団体等の活動に対し活動費の助成を含めた支援を行います。</li> <li>・社会福祉課が社協のボランティアの取り組みに対する支援等を行っている。</li> </ul>	
<p>公助②ボランティアセンターの機能拡充支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ボランティアセンターの機能拡充に向けた支援を行います。</li> <li>・社会福祉課が社協ボランティアセンターの支援を行っている。</li> </ul>	
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協のボランティアセンターを中心としたボランティア活動や活動支援を社会福祉課が委託により行っているため、その位置づけで記載してはどうか。</li> <li>・高齢者のミニデイサービスでのボランティア等もこの項目に記載するか調整を行う必要がある。</li> </ul> <p>&lt;公助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「社協と連携したボランティアの推進」など、取り組み状況を再度確認しながら項目を見直す</li> </ul>

(点検1-3-3) 市民活動団体、地域団体等の活性化支援

<共助>

<p>共助①地域団体等の連絡協議会等開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各地域団体等の交流機会や情報共有化を図る体制づくりに向け連絡協議会等を開催します。</li> <li>・社協では、老人婦人子ども合同運動会を交流の実績としてあげている。</li> </ul>	
<p>共助②市民活動団体設立に係る講座等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民活動団体設立に係るノウハウや具体的な手続き方法等に対する講座等を関係機関と連携して開催します。</li> <li>・社協で「未定」となっている。</li> </ul>	
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉推進委員会を地域団体の連絡・情報共有の場としても活用するように掲げる方向で考えている。</li> <li>・共助①：老人会、子ども会、青年会、婦人会等の連絡協議会はないが、自治会の地域福祉推進委員会に各団体の方が入っている。</li> <li>・共助②：未定であり、必要性などもふまえ、今後の取組方を検討する。</li> </ul> <p>&lt;共助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉推進委員会を中心にした連携を掲げる</li> <li>・その他、地域団体等への支援について取り組みを検討し、項目を見直す</li> </ul>

<公助>

<p>公助①市民活動団体等立ち上げに関する情報提供等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民活動団体等の立ち上げに対する情報提供等、側面からの支援を行います。</li> <li>○社会教育団体等の活動内容等をわかりやすく住民に提供します。</li> <li>・現時点で「立ち上げ」に対する支援は未実施となっている。</li> </ul>	
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動団体、地域団体の立ち上げ支援等について、具体的に必要か、調整を行う。</li> </ul> <p>&lt;公助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・項目の見直しを検討する</li> </ul>



(点検・2) 地域に根ざした課題解決の仕組みづくり

(点検2-1) 地域の見守り体制づくり

(点検2-1-1) 地域の見守りネットワークの形成

< 共助 >

	<p>共助① “見守り台帳” の整備への協力</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 「見守り台帳」 の整備に協力します。</li><li>・ 民生委員による見守り台帳整備において、対象者宅の訪問調査を実施。継続者には台帳登録の意向確認。家庭訪問時に拒否が多いことが課題。</li></ul>
	<p>共助② 地域福祉推進委員会の未設置自治会への設立支援</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 地域福祉推進委員会の未設置の自治会に対し、委員会が担う役割に対する理解を求めながら、設立に向けた支援を行います。</li><li>・ 未設置地区に委員会の趣旨説明。ミニデイデモの実施、H28年度は1地区で新規設置。自治会の理解が得られないこともある。</li></ul>
	<p>共助③ “豊見城市地域見守り隊” と連携した見守り体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 「豊見城市地域見守り隊」 の活動と連携した地域の見守り体制の充実に努めます。</li><li>・ 市内事業所が日々の業務で住民宅を訪問した際、居住者の生活上の異変に気づいた場合、関係機関へ連絡する体制の整備を進めている。</li></ul>
考え方	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 現在取り組んでおり、今後も継続して実施する。</li></ul> <p>&lt; 共助 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 継続実施で掲げる</li></ul>

<公助>

	<p>公助① “豊見城市地域見守り隊” の活動拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「豊見城市地域見守り隊」 の活動の拡充を図ります。</li> <li>・ 市内事業所が日々の業務で住民宅を訪問した際、居住者の生活上の異変に気づいた場合、関係機関へ連絡する体制の整備を進めている。郵便やライフライン(水道など)の事業者と協定を結ぶことを検討。</li> </ul>
	<p>公助② “みーまーる運動” の啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「みーまーる運動」 等の活動に関する啓発活動を推進します。</li> <li>・ 「実施予定」となっている。市のホームページでは「地域見守り隊」への協力事業者を募集。協定締結の際は広報紙で周知する。</li> </ul>
	<p>公助③ 個人情報に配慮した情報提供の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 個人情報に配慮した情報提供体制の在り方を検討します。</li> <li>・ 市の情報公開や個人情報保護条例に基づいて行っている。</li> </ul>
	<p>公助④ 地域や社会福祉施設、市関係機関とのネットワーク形成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域や社会福祉施設、市の関係機関とのネットワークの形成を支援します。</li> <li>・ 社会福祉課では福祉部班長会議の開催を実績に上げている。</li> </ul>
<p>考 え 方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「みーまーる運動」という言葉を見守り運動のネーミングとして使用するかどうか検討が必要。使用するのであれば、市で行う見守り運動は「みーまーる運動と呼ぶ」ことを広く周知する必要がある。</li> <li>また、「みーまーる」＝見守りの捉え方。高齢者の見守りのみに感じられる。子どもや隣近所の見守り、つながりなど広く捉える必要があるのではないか。そのとき、「みーまーる」というネーミングで通じるのか？</li> <li>・ 公助①・②：第3次計画策定に向け、「地域の見守り体制」について、どんな取り組みがあるか、一つに合わせるなど体系化できるか等を検討し、調整を図っていく。</li> <li>・ 公助④：関係機関とのネットワーク、情報共有などの内容で示すことを考えている。</li> </ul> <p>&lt;公助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者、子ども、障害者等を含めた見守り活動について検討しながら、内容を整理し、取り組みの再編を行う</li> <li>・ 「みーまーる運動」という名前で推進するか検討する</li> </ul>

(点検2-1-2) 気軽なゆくい場の確保 (居場所づくり)

<共助>

<p>共助①ゆくい場として自治会公民館活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「ゆくい場」として自治会公民館の活用を促進します。</li> <li>・実績として、介護予防活動の補助金に関する情報提供や、生活支援コーディネーターの地域支援等があげられている。(公民館における高齢者以外の「居場所」としての活用はあるか?)</li> </ul>	
<p>共助②ゆくい場の設置場所開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自治会公民館や空き店舗などを活用した「ゆくい場」の設置場所を開拓します。</li> <li>・現在未実施。(実施予定となっている。)</li> </ul>	
<p>共助③多様な交流の場をゆくい場として活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な形態の交流の場を「ゆくい場」として、その活動を支援します。</li> <li>・現在未実施。実施予定となっている。</li> </ul>	
<p>共助④ゆくい場の運営ボランティア養成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「ゆくい場」の運営を支えるボランティアの養成・確保に努めます。</li> <li>・現在未実施。実施予定となっている。</li> </ul>	
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ゆくい場」の確保については、社協ではミニデイサービスを「居場所づくり(高齢者)」として捉え実施している。</li> </ul> <p>&lt;共助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニデイサービスを高齢者の居場所・交流機会として継続する</li> <li>・高齢者以外の居場所づくりについて検討する</li> </ul>

<公助>

<p>公助①市民の交流スペースの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市の関係機関と連携し市民の多様な交流を促進するための交流スペースを確保します。(再掲)</li> <li>・平成30年度に新庁舎が建設され、市民交流のフロアが設置予定である。</li> </ul>	
<p>公助②ゆくい場の確保のため、関係機関と調整</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「ゆくい場」の設置場所を確保するため、関係機関と調整します。</li> <li>・公民館を活用した地域ミニデイサービスを実施。48自治会全てで実施し、高齢者の通える場を各地域に確保必要。</li> </ul>	
<p>公助③ゆくい場の整備・活動への助成検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「ゆくい場」の整備や活動に対する助成を検討します。</li> <li>・介護予防活動を行う地域団体を育成し、高齢者が自ら活動に参加する地域づくりを図るため、補助金交付している。H28年度は2団体に交付。</li> </ul>	
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ゆくい場」という言葉を居場所づくりの代わりに名称として使用するかどうか検討が必要。使用するのであれば、市民に対して周知・広報を図る必要がある。(現時点ではあまり浸透していないと思われる。)</li> <li>・居場所づくりについては、高齢者のほかにも子ども、障害者などでも必要となっている。対象広げたり、あるいは市民が集う場を指すのかなど検討し、その上で取り組みを掲げる必要がある。</li> </ul> <p>&lt;公助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者、子ども、障害者等を含めた居場所づくりについて検討しながら、内容を整理し、取り組みの再編を行う</li> <li>・居場所づくりを「ゆくい場」という名前で推進するか検討する</li> </ul>

(点検2-1-3) コミュニティソーシャルワーク機能の充実

<共助>

<p>共助①住民、多職種の協働によるネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○住民をはじめ、多職種の協働によるネットワークづくりを行います。</li> <li>・自治会を単位とした近隣住民らで支え合う福祉推進委員会を推進。H27年度は38地区で実施(48自治会中)。全自治会で実施したい。未実施地区へ事業説明を開催し周知したい。</li> </ul>
<p>共助②コミュニティソーシャルワーク機能を高めるための講習会等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティソーシャルワーク機能を高めるための講習会、勉強会を実施し、活動の資質の向上を図ります。</li> <li>・各種連絡会、研修会への参加を実施している。</li> </ul>
<p>共助③コミュニティソーシャルワーカーの資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティソーシャルワーカーの資質の向上を図ります。</li> <li>・各種連絡会、研修会への参加を実施している。</li> </ul>
<p>共助④アウトリーチを徹底した事業展開と支援ネットワークづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○アウトリーチ(地域に出向いていくこと)を徹底し、制度のはざ間や支援につながりにくい生活課題を発見し、問題解決に向けた事業展開と支援ネットワークづくりに取り組みます。</li> <li>・民生委員児童委員等地域の関係機関と連携し、地域へ出向いて個別課題の相談支援等を行った。</li> </ul>
<p>考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの取り組みを継続し、今後も実施する。</li> <li>・共助①：「多職種」は関係機関にするなど、適宜文言変更を考えている。</li> </ul> <p>&lt;共助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続実施で掲げる</li> </ul>

<公助>

<p>公助①コミュニティソーシャルワーク活動の拠点窓口の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティソーシャルワーク活動の拠点となる窓口の設置に対する取り組みを進めます。</li> <li>・社協への委託によりコミュニティソーシャルワークを進めている。</li> </ul>
<p>公助②コミュニティソーシャルワーカーの配置に関わる支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティソーシャルワーカーの配置に関わる助成、支援を行います。</li> <li>・各中学校区にコミュニティソーシャルワーカーを配置し、社協が運営している。</li> </ul>
<p>考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティソーシャルワークについては、社協への委託で今後も充実を図る。</li> <li>・公助①：拠点窓口の設置は必要性を確認し、第3次計画での示し方を検討する。</li> </ul> <p>&lt;公助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティソーシャルワークは継続実施で掲げる</li> <li>・拠点窓口の設置については検討の上、取り組みを掲げる(包括的な相談支援も含めて検討する)</li> </ul>

(点検 2-2) 地域資源と福祉活動をつなげる仕組みづくり

(点検2-2-1) 利用しやすい活動拠点の確保、整備

<共助>

	<p>共助①既存公共施設の有効利用について検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○関係機関と連携し、既存公共施設の有効利用について検討します。</li> <li>・市社会福祉センターやコミュニティセンター、児童館等で子供の居場所を開設。寄り添い型支援(生活習慣の改善、学習支援)を行った。</li> </ul>
	<p>共助②福祉施設等の貢献活動・交流活動に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉施設等が実施する貢献活動や交流活動に対する支援を行います。</li> <li>・実績として灯籠まつりへの協力や地域美化活動への協力をあげている。</li> </ul>
	<p>共助③福祉施設に“ゆくい場“の設置推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各福祉施設に、ふれあい機能を持たせた「ゆくい場」の設置を進めます。</li> <li>・実施予定となっている。</li> </ul>
	<p>共助④地域で活用できる事業や助成金等の情報収集・発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域で活用できる事業や助成金等の情報収集、発信を行います。</li> <li>・市の介護予防活動補助金の情報提供等を行っている。</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共助②：「福祉施設の貢献活動・交流活動に対する支援」は、第3次計画では「社会福祉法人の地域貢献活動の推進」という項目を設け、取り組みを掲げることで考えている。</li> <li>・共助③：「(2)気軽なゆくい場の確保」で示されているため、ここでは削除を考えている。</li> <li>・共助④：現在のところ、高齢者福祉分野の「介護予防活動補助金」（介護保険の新しい総合事業に位置づけられている事業）についてのみ。</li> </ul> <p>&lt;共助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貢献活動等については、「社会福祉法人の地域貢献活動の推進」という項目を設け、取り組みを掲げる</li> <li>・その他、内容を整理し、項目を再編する</li> </ul>

<公助>

	<p>公助①既存施設の有効利用等について調整</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○関係機関と連携し、既存公共施設の有効利用や利用規制の緩和について調整します。</li> <li>・既存の公共施設の利活用がしやすいように進める必要がある。</li> </ul>
	<p>公助②福祉施設等の貢献活動・交流活動等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉施設等の地域貢献活動や交流活動等に対する支援を行います。</li> <li>・実績では、保育園等の地域活動(清掃)や障害福祉サービス事業所の交流会等についてあげられている。</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公助①：施策の在り方について検討が必要。既存施設の有効利用は必要であるが、福祉に関連して、現在、具体的な取り組みが見られない。福祉関係課の活動拠点の状況を再度確認し、既存施設の有効利用に就いて調整後、施策を掲げたい。</li> <li>・公助②：福祉施設の貢献活動・交流活動への支援」は、第3次計画では「社会福祉法人の地域貢献活動の推進」という項目を設け、取り組みを掲げることで考えている。</li> </ul> <p>&lt;公助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動拠点の確保について、福祉関係課と確認しながら取り組みを検討する</li> <li>・貢献活動等については、「社会福祉法人の地域貢献活動の推進」という項目を設け、取り組みを掲げる</li> </ul>

(点検2-2-2) 福祉関係団体等の連携

<共助>

	<p>共助①関係団体や組織の活動情報などの共有化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の関係団体や組織との交流を深め、活動情報などの共有化を図ります。</li> <li>・実績として、チャンプルー交流会、ミニデイボランティア交流会福祉推進委員会連絡会の開催があげられている。</li> </ul>
	<p>共助②地域福祉推進委員会と関係福祉団体との連携構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域福祉推進委員会と関係福祉団体等との連携体制を構築するための調整を行います。</li> <li>・実績として、チャンプルー交流会、ミニデイボランティア交流会福祉推進委員会連絡会の開催があげられている。</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共助①と②を合わせて、地域の関係団体の連携や情報共有、とし、その中に地域福祉推進委員会も含めていく方向で考えている。(一つのネットワークとして)</li> </ul> <p>&lt;共助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉推進委員会を中心とした連携で内容を再編する</li> </ul>

<公助>

	<p>公助①高齢・障害の相談先や福祉関係団体等との定期的な連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域包括支援センター、障害者相談支援事業所と市内の福祉関係団体等と定期的な連絡協議会を開催しながらネットワークを構築します。</li> <li>・障害者分野では「地域自立支援協議会」があり、市内事業所等の定期的な情報共有・ケース検討などの機会になっている。高齢者では地域包括支援センターを中心とした相談等を行っている。</li> </ul>
	<p>公助②地域と福祉関係団体のネットワーク形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域と福祉関係団体のネットワークを形成します。</li> <li>・実績として生活困窮者の相談と自立支援を行うパーソナルサポートセンターの設置と、コミュニティソーシャルワーカーとともに地域の福祉関係団体等との連携体制構築を図ることが上げられている。</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「福祉関係団体等の連携」の項目は、基本目標1の「3-(3)市民活動団体、地域団体等の活性化支援」と類似していることから、第3次計画では掲げ方を検討し直すことを考えている。</li> <li>・公助①：高齢者、障害者の相談先と福祉関係団体の連絡会の必要性について検討し、今後の取組を示す。また、今後「包括的」という名のもとに、高齢者、障害者、児童など福祉の各分野を横断的に捉えた相談支援などが見込まれる。こういった動きも見きわめながら取り組みを上げて行きたい。</li> <li>・公助②：パーソナルサポートセンターを含めた「生活困窮世帯自立支援」については、第3次計画で新しい項目を立てて盛り込んでいく予定。</li> </ul> <p>&lt;公助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉関係団体との連携について、項目の再編を行う</li> <li>・包括的(横断的)な相談や連携を念頭に置いて再編する</li> <li>・生活困窮世帯の自立支援は新しい項目として、別立てで盛り込む</li> </ul>



(点検2-2-3) 民生委員・児童委員活動の充実

<共助>

	<p>共助①民生委員児童委員の活動内容の周知広報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○民生委員・児童委員の活動内容を周知する啓発活動を推進します。</li> <li>・民生委員児童委員活動強化週間での「一日民生委員委嘱」、「独居高齢者訪問」、「大型商業施設でのチラシ配布」を実施。</li> <li>広報紙等への記事掲載。</li> </ul>
	<p>共助②民生委員児童委員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○民生委員・児童委員の資質の向上を促すための研修会、講演会などを開催します。</li> <li>・福祉サービス勉強会、認知症サポーター養成講座、福祉施設視察、県外視察研修などを実施。</li> </ul>
	<p>共助③定数確保に向けた民生委員児童委員連合会との調整</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○定数確保にむけ民生委員・児童委員連合会との調整を行います。</li> <li>・実績では、自治会長会との情報交換やコミュニティソーシャルワーカーによる欠員地区自治会長へのアプローチがあげられている。(ここは、民生委員児童委員連合会との調整を図る項目であるが、実績はそれを満たしているか)</li> </ul>
	<p>共助④個人情報に配慮した情報提供や共有化に向けた調整</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○個人情報に配慮しながら、情報提供の在り方や共有化に向けた調整を行います。</li> <li>・高齢者見守り台帳の整備の協力。民生委員児童委員向けの個人情報取り扱いについての勉強会等を行っている。</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの取り組みを継続し、今後も実施する。</li> </ul> <p>&lt;共助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続実施で掲げる</li> </ul>

<公助>

	<p>公助①民生委員児童委員の定数確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○民生委員・児童委員の定数確保に向けた取り組みを行います。</li> <li>・民生委員児童委員数は、H28年11月末は74人(充足率85.1%)、12月の一斉改選後は68人(充足率76.4%)に下がった。21人欠員。改選前は現任者への継続依頼を実施した。民生委員活動を理解してもらうことで、民生委員確保につなげる。</li> </ul>
	<p>公助②民生委員児童委員の活動内容の周知広報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○民生委員・児童委員の活動内容を市民に周知する広報啓発活動を推進します。</li> <li>・民生委員活動のパンフレット配布、「民生委員児童委員の日」には活動の普及啓発を行っている。</li> </ul>
	<p>公助③民生委員児童委員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○関係機関と連携し、民生委員・児童委員の資質の向上に取り組みます。</li> <li>・毎月の定例会を開催し、行政からの報告や情報提供等を行っているほか、先進地視察研修を実施している。</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの取り組みを継続し、今後も実施する。</li> <li>・地域福祉において民生委員児童委員の役割は非常に大きいため、第3次計画においても充実や定数確保を掲げていく必要がある。</li> </ul> <p>&lt;公助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続実施で掲げる</li> </ul>

(点検・3) サービス利用に対するきめ細かな支援

(点検3-1) 地域に根ざしたサービス利用の推進

(点検3-1-1) 地域福祉サービスの質の向上

<共助>

	<p>共助①福祉サービスへの理解を深める研修等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○関係機関と連携し、福祉サービスに対する理解を深めるための研修会や学習会を開催します。</li> <li>・各種団体との情報交換会へ参加等。</li> </ul>
	<p>共助②福祉サービスの知識を深める学習の場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○関係機関と連携し、福祉サービスの知識を深める学習の場を提供します。</li> <li>・「障害者週間」における市役所ロビーへのパネル展示を実施。</li> </ul>
	<p>共助③新たな活動プログラムの企画・開発への助成検討、企画提案内容を実践するための仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新たな活動プログラムの企画・開発に対する助成の検討や企画提案された内容を事業として実践するための仕組みづくりに取り組みます。</li> <li>・新たな事業を企画し、実施した。</li> <li>ア) ささえあい福祉銀行：市民等から提供された食料や衣服等を必要な方への取り次ぎ</li> <li>イ) ささえあい緊急一時支援見舞事業：生活資金が乏しく困窮する世帯に、緊急・一時的な支援を行う</li> </ul> <p>事業の周知(中学校等へ)が課題となっている</p>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの取り組みを継続し、今後も実施する。</li> <li>・共助①は「社協職員」に対する取り組み、共助②は「市民」に対する取り組みとして位置づけている。</li> </ul> <p>&lt;共助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続実施で掲げる</li> </ul>

<公助>

	<p>公助①市民からの意見や苦情に迅速対応する庁内体制構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民からの意見や苦情等に迅速に対応できる庁内体制を構築します。</li> <li>・学校施設に関連する苦情等に対応する体制を構築する。</li> </ul>
	<p>公助②地域に密着した福祉サービスへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域に密着した福祉サービスに対する支援を行います。</li> <li>・高齢者分野では、地域密着型サービスを整備している。H29年度までに認知症対応型共同生活介護(グループホーム)を1か所設置予定。</li> <li>児童分野では、待機児童解消のため、保育施設の整備を進めている。H28年度に分園1園、小規模保育園4園、事業所内保育園1園新たに開園した。待機児童の減少につながっている。</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公助①：それぞれの窓口で対応しているほか、市の投書箱、メールでの苦情等も担当課に回ってくる。</li> <li>・公助①：ここでは「福祉サービスに関する…」という書き出しで項目名にした方が良いと考える。また、今後「包括的相談支援」という考え方が国から示されることが見込まれている。この視点も勘案しながら、取り組みについて検討していく。</li> <li>・公助②：「地域に密着した」は省いて「福祉サービスの充実や支援」等に変更したいと考える。(介護保険に「地域密着型サービス」という名称があるため)</li> </ul> <p>&lt;公助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民への包括的なケアの視点を念頭に置きながら、福祉サービスの質の向上や支援体制等について取り組みを再編する</li> </ul>

## (点検3-1-2) 情報提供体制の充実

### < 共助 >

	<p>共助①情報交換の場づくり、情報の収集・発信方法の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の生活課題を解決するために情報交換の場をつくります。また、必要な情報の収集や発信の方法を工夫します。</li> <li>・各種連絡会への参加により情報交換を行っている。</li> <li>社協ホームページや社協だより、社協のしおりを活用した情報提供を実施。</li> </ul>
	<p>共助②コミュニケーション支援の人材養成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○意思の疎通が困難な市民の情報格差を解消していくためコミュニケーション支援の充実に係る人材の養成と確保に努めます。</li> <li>・音訳ボランティア養成を行っている。また、ボランティア団体が、音訳や要約筆記などによりコミュニケーション支援を行っている。</li> </ul>
	<p>共助③福祉サービスに係る情報収集、情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉サービスに係る情報を収集し、広報紙、ホームページ等で発信します。</li> <li>・社協ホームページや社協だより、社協のしおり等を活用した情報提供を行っている。</li> </ul>
	<p>共助④情報収集、共有化のための情報ネットワーク形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○関係機関と連携し、情報収集、共有化を図るためのネットワークを形成します。</li> <li>・各種団体との情報交換会に参加している。また、高齢者、障害者の関係会議や連絡会に出席。社協としての情報共有は図られている。</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの取り組みを継続し、今後も実施する。</li> <li>・第3次計画では、共助①と③を合わせて情報収集と情報発信について掲げたいと考える。(内容が似ているため)</li> </ul> <p>&lt; 共助 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続実施で掲げる</li> </ul>

### < 公助 >

	<p>公助①情報のバリアフリー化推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○情報のバリアフリー化に向けた取り組みを推進します。</li> <li>・障がい・長寿課は手話通訳が常駐しているほか、派遣も実施(派遣は要約筆記者も対応)。養成講座も行っている。手話通訳者複数人設置が課題である。社会福祉課では窓口に筆談用具を設置したり、障がい・長寿課の手話通訳者による対応も行っている。</li> </ul>
	<p>公助②個別ニーズに対応する情報提供の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な情報媒体を活用し、個別ニーズに対応する情報提供の充実に努めます。</li> <li>・社会福祉課では「実施予定」としている。アンケート調査より情報入手方法の希望を確認し、それを踏まえて情報発信方法を検討する。</li> </ul>
	<p>公助③地域情報の集約・共有化のためのネットワークの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域情報の集約や共有化を図るためのネットワークを形成します。</li> <li>・社会福祉課では「実施予定」としている。アンケート調査より情報入手方法の希望を確認し、それを踏まえて情報発信方法を検討する。</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉サービスに関する情報提供の充実を示すほか、公助①や②での対応(世代別など)を掲げる。また、民生委員児童委員等、地域の相談を担う方々を通じての情報提供も必要であり、こういった内容を踏まえて取り組みを掲げたい。</li> </ul> <p>&lt; 公助 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報バリアフリーや地域と連携した提供を盛り込みながら取り組みを再編する</li> </ul>

### (点検3-1-3) 相談支援体制の充実

#### <共助>

<p>共助①民生委員、地域福祉推進委員会と連携し、地域の相談支援の仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○民生委員・児童委員、地域福祉推進委員会等と連携し、地域の福祉活動につなげる相談支援の仕組みを作ります。</li> <li>・支援を必要とする人の相談、見守り、関係機関等へのつなぎを行い、生活上の困難・課題を解決する。</li> <li>コミュニティソーシャルワーカーを3中学校区に各1名配置し、地域への支援等を行っている。H28年度からは子どもの支援に特化した「子ども支援員」を4人配置。</li> </ul>		
<p>共助②公民館を活用した身近な相談窓口整備、コミュニティソーシャルワーカーを中心とした相談支援体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公民館等を活用した身近な地域の相談窓口の整備やコミュニティソーシャルワーカーを中心とした相談支援体制の充実に努めます。</li> <li>・コミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域の相談支援体制が構築されている。</li> </ul>		
<p>共助③住民と専門職が協働する連絡会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小圏域を単位とする住民と専門職が協働する「連絡会議」を開催し多様な生活課題の解決に向けた支援を行います。</li> <li>・実績では、コミュニティソーシャルワーカーと子ども支援員の連携による個別ケースへの対応等についてあげられている。</li> </ul>		
<p>共助④関係機関の相談担当者の連携、情報交換のネットワーク活動強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な関係機関の相談担当者の連携や情報交換が行えるネットワーク活動を強化します。</li> <li>・各種連絡会への参加を行っている。関係機関との情報交換を通して顔の見える関係性が構築されている。</li> </ul>		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="245 1122 319 1352" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <p>考え方</p> </td> <td data-bbox="319 1122 1444 1352"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共助①・②：「相談支援体制」の内容と、「コミュニティソーシャルワーク機能」の内容が似ているため、項目の精査が必要と考える。</li> <li>・公民館を活用した相談については、公民館の現状等もふまえ、取り組みの掲げ方を検討していきたい。</li> </ul> <p>&lt;共助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容を精査しながら取り組みを再編する</li> </ul> </td> </tr> </table>	<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共助①・②：「相談支援体制」の内容と、「コミュニティソーシャルワーク機能」の内容が似ているため、項目の精査が必要と考える。</li> <li>・公民館を活用した相談については、公民館の現状等もふまえ、取り組みの掲げ方を検討していきたい。</li> </ul> <p>&lt;共助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容を精査しながら取り組みを再編する</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共助①・②：「相談支援体制」の内容と、「コミュニティソーシャルワーク機能」の内容が似ているため、項目の精査が必要と考える。</li> <li>・公民館を活用した相談については、公民館の現状等もふまえ、取り組みの掲げ方を検討していきたい。</li> </ul> <p>&lt;共助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容を精査しながら取り組みを再編する</li> </ul>	

#### <公助>

<p>公助①福祉事務所、障害者相談支援事業所の相談窓口の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉事務所、障害者相談支援事業所の相談窓口の充実強化を図ります。</li> <li>・生活困窮者の自立支援のため「就職・生活支援パーソナルサポートセンター」を開設し、相談や制度利用、関係機関とのつなぎ等を行っている。スタートして2年目であり、相談員の研鑽が必要。</li> <li>障害者については相談支援事業所での相談を行っている。相談支援員の確保が必要。</li> </ul>
<p>公助②身近な相談窓口の整備、利用しやすい相談体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○関係機関と連携し、身近な地域における相談窓口の整備や多様な媒体を活用した相談窓口を開設するなど、利用しやすい相談体制を整えます。</li> <li>・保育幼稚園課では、「保育コンシェルジュ」を配置し、一人ひとりの状況に応じた子育て支援の相談・情報提供を行っている。</li> <li>社会福祉課では「公助①」で示したパーソナルサポートセンターに関する実績をあげている。</li> </ul>

考 え 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口のことが公助①と②に分かれているが、ひとつにまとめた方が良いと考える。</li> <li>・今後、包括的相談支援(ワンストップサービスの)が国から示されると見込まれるため、この点も考慮しながら第3次計画の取り組みについて検討したい。</li> </ul> <p>&lt;公助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・包括的相談支援を念頭に置きながら、相談の充実について取り組みを再編する</li> </ul>
-------------	--

## (点検 3-2) 一人ひとりを尊重する権利擁護の推進

### (点検3-2-1) 個人の尊厳と権利を守る仕組みづくり

#### <共助>

	<p>共助①見守り活動の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○民生委員・児童委員や関係機関と連携した見守り活動を強化します。</li> <li>・民生委員児童委員や関係機関と連携した高齢者見守りネットワークを展開している。また、市の要保護児童対策協議会へ参加し連携。さらに、地域企業と連携した地域見守り活動を行っている。</li> </ul> <p>地域見守り隊に4事業者を指定しており、日常の業務の中で住民の異変等を発見した場合に連絡・通報する体制を構築している。</p> <p>民生委員児童委員も高齢者見守りネットワーク事業において見守り活動を行っている。</p>
	<p>共助②人権教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○関係機関と連携した人権教育を促進します。</li> <li>・人権啓発活動へ参加したり、豊見城市部人権擁護委員と連携し、人権教育を推進した。</li> </ul>
	<p>共助③虐待の早期発見・防止の啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の見守り活動と連携し、虐待の早期発見や防止の啓発活動を推進します。</li> <li>・虐待の早期発見や虐待防止に関するチラシ配布を行っている。</li> </ul>
	<p>共助④虐待被害者の支援について市や関係機関と連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○虐待被害者に対する支援の在り方について、市や関係機関と連携します。</li> <li>・市の要保護児童対策地域協議会や高齢者虐待防止ネットワークなどに参加し、虐待の未然防止、早期発見早期対応に努めている。</li> </ul>
考 え 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共助①：見守り活動については、基本目標2「1-(1)地域の見守りネットワークの形成」で示し、ここでは削除する方向で考えている。</li> <li>・共助④：虐待被害者支援については、削除するか取り組める内容について調整の上、取り組みを示したい。(行政の役割ではないから)</li> </ul> <p>&lt;共助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育と虐待防止の啓発は継続して実施する</li> <li>・見守り活動と虐待被害者支援はここでは削除する</li> </ul>

<公助>

	<p>公助①虐待防止ネットワークの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○虐待防止ネットワークの強化を図ります。</li> <li>・障がい・長寿課は、高齢者虐待防止ネットワーク会議を毎年開催し、関係機関等との連携を図っている。子育て支援課は、要保護児童対策地域協議会を実施し、現場の児童虐待の現状について意見交換や連携を図っている。。</li> </ul>
	<p>公助②虐待防止対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○関係機関との連携による虐待防止対策の充実を図ります。</li> <li>・健康推進課は、乳児全戸訪問事業や乳幼児健診の未受診者に受診を勧めるなど、子どもと家庭の状況把握に努めている。DVやネグレクトが疑われる場合は、情報共有により虐待の未然防止、早期発見・対応に努めている。</li> <li>障がい・長寿課では、公助①同様に高齢者虐待防止ネットワーク協議会により、対策の検討が行われている。</li> <li>子育て支援課は、児童虐待についての啓発をホームページやチラシ、パネル展、講演会等で実施。</li> </ul>
	<p>公助③虐待被害者への支援策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○虐待被害者への支援策の充実に取り組みます。</li> <li>・緊急一時保護施設を確保し、虐待被害者への支援が構築できた。</li> <li>児童分野では、養育支援訪問事業を導入し、早期に子育ての困り事に対応、専門的助言や家事育児支援養育者の自立を促していくなどしている。</li> </ul>
	<p>公助④男女共同参画の実現に向けた普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○男女共同参画社会の実現に向けた普及啓発活動を推進します。</li> <li>・市の男女共同参画プランに基づき、意識啓発等を行っている。（広報紙、講座、パネル展、標語募集など）</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの取り組みを継続し、今後も実施する。</li> </ul> <p>&lt;公助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続実施で掲げる</li> </ul>



(点検3-2-2) 権利擁護制度の充実

<共助>

	<p>共助①当事者ニーズに応じた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小地域ネットワーク活動やコミュニティソーシャルワーカーとの連携、アウトリーチ機能を強化し、当事者ニーズに応じた支援を行います。</li> <li>・実績では、コミュニティソーシャルワーカーの配置や子ども支援員の配置および連携等があげられている。</li> </ul>
	<p>共助②日常生活自立支援事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉サービス利用支援や日常生活における金銭管理、預かりサービス等の充実を図ります。(日常生活自立支援事業の充実)</li> <li>・認知症高齢者、知的障害者、精神障害者で判断応力が不十分な人に対し、福祉サービスの利用に関する援助等を行っている。</li> <li>社協では、権利擁護センターを設置して事業展開しているが、生活支援員のなり手が不足しており、利用待機が増えるおそれがある。</li> </ul>
	<p>共助③法人後見人として、身上監護・財産管理実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○法人後見人として、判断能力が十分でない方の身上監護、財産管理を行います。</li> <li>・社協が法人後見人となり、判断応力が不十分なために意思決定が困難な人の支援や見守りを行っている。</li> <li>人材を確保しなければ、新たな受け入れが難しい状況である。</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの取り組みを継続し、今後も実施する。</li> </ul> <p>&lt;共助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続実施で掲げる</li> </ul>

<公助>

	<p>公助①権利擁護制度の普及啓発活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○権利擁護制度の利用を促していくため、制度に対する普及啓発活動の充実に努めます。</li> <li>・権利擁護の周知・広報のため、ホームページや市広報紙、パンフレットの配布等を実施予定。</li> </ul>
	<p>公助②成年後見制度、日常生活自立支援事業等の利用支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○関係機関や社会福祉協議会等と連携し、成年後見制度、日常生活自立支援事業等の利用に関わる支援を行います。</li> <li>・高齢者や障害者およびその家族に対し、成年後見制度の説明や案内等を行った(地域包括支援センターや障害者相談支援事業所との連携により実施)。</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護については、成年後見や日常生活自立支援など、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等が該当してくるため、この点を踏まえて担当課について検討し、取り組みに掲げていく予定。</li> </ul> <p>&lt;公助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続実施で掲げるが、担当課を確認しながら、取り組みの調整を行う</li> </ul>

**(点検・4) 健康で安心して暮らせるまちづくり**

**(点検 4-1) 健康づくりへの取組み**

**(点検4-1-1) 健康づくりに対する理解の促進**

<共助>

	<p>共助①健康づくりに対する啓発活動推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な機会をとらえて健康づくりに対する啓発活動を推進します。</li> <li>・社協では、社会福祉センターリハビリ室での運動指導等の相談活動を実施しており、看板を設置や社協だよりに掲載するなどして周知に努めている。</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの取組みを継続し、今後も実施する。</li> </ul> <p>&lt;共助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続実施で掲げる</li> </ul>

<公助>

	<p>公助①特定健診、特定保健指導の受診率、実施率向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○特定健診、特定保健指導の受診率や実施率の向上を図るための取組みを推進します。</li> <li>・40歳以上の国保加入者に生活習慣病予防のための健診を実施。受診率は35.9%。また、特定健診の結果生活習慣病リスクが高い方に対して保健指導を実施。指導率は48.3%。ナイト健診を行うなど、受診機会の確保に努めた。今後も健診受診機会の確保、保健指導の実施、受診勧奨を行う。</li> </ul>
	<p>公助②各種健康診査、検診の受診率向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各種健康診査や検診の受診率の向上を図るための取組みを推進します。</li> <li>・乳幼児期は母子手帳交付時や3歳児健診の待ち時間栄養相談や食に関する知識の普及を行っている。また、大人に対しては、集団検診の場を活用して食事バランス測定を実施。20～39歳の国保加入者に対しても健康診査を実施(40歳未満の生活習慣病罹患が増加していることから)H27年度の受診者数は244人。前年比70人増。</li> </ul>
	<p>公助③健康カレンダーを活用した健康づくり普及啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○健康カレンダー等を活用した健康づくりに対する普及啓発活動を推進します。</li> <li>・市の保健事業の周知等のため、「健康カレンダー」を全世帯配布している。望ましい食習慣の情報を発信する「食育だより」も全世帯配布している。</li> </ul>
	<p>公助④「健康とみぐすく21」に基づいた市民の健康づくり支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「健康とみぐすく21」に基づき、市民の健康づくりを支援します。</li> <li>・市民の健康づくりの取組みを掲げた「健康とみぐすく21」に基づき進めている(食育関連の取組み、タバコ対策など)。食生活改善推進員の不足や公共施設での禁煙認定施設が少ないという課題も見られる。</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの取組みを継続し、今後も実施する。</li> </ul> <p>&lt;公助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続実施で掲げる</li> </ul>

(点検4-1-2)健康づくりの場の整備

<共助>

<p>共助①社会福祉センターリハビリ室を活用した健康増進の場の提供</p> <p>○社会福祉センターのリハビリ室を活用した健康増進の活動の場を提供します。</p> <p>・社協では、社会福祉センターリハビリ室に運動指導士を配置し、運動指導等を実施。継続的に参加する利用者も増えており、健康維持・介護予防に対する意識が高まった。</p>	
<p>考 え 方</p>	<p>・これまでの取り組みを継続し、今後も実施する。</p> <p>&lt;共助&gt;</p> <p>・継続実施で掲げる</p>

<公助>

<p>公助①身近な地域での健康づくりの場の整備</p> <p>○身近な地域で健康づくりが行えるように、健康づくりの場の整備を図ります。</p> <p>・豊崎海浜公園を整備しており、その中で健康遊具も設置を行った。</p> <p>平成27年には市民体育館も利用を開始し、市民の健康づくりの場となっている。</p>	
<p>公助②健康づくり教室の充実、スポーツ教室などの開催</p> <p>○健康づくり教室の充実やスポーツ教室などを開催していきます。</p> <p>・食生活改善推進員の料理講習会、イベント会場での健康づくり活動などを実施。また、生活習慣病予防教室を実施（H27：10回）</p> <p>市民体育館では、スポーツ教室(操体法事業)も実施している。スポーツ振興と市民の健康保持増進を図っている。申込が多く、受講できない人もいる状況。</p>	
<p>考 え 方</p>	<p>・これまでの取り組みを継続し、今後も実施する。</p> <p>&lt;公助&gt;</p> <p>・継続実施で掲げる</p>

(点検 4-2) 安全・安心のまちづくり

(点検4-2-1) 住みよい生活環境づくりの推進

<共助>

<p>共助①地域の美化運動等への協力</p> <p>○関係機関と連携し、地域の美化運動等に協力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市老人クラブ連合会と連携し、市社会福祉センター周辺の美化活動に取り組んでいる。(花壇整備、プランターへ花を植え付けて関係機関へ配布) 交流の場ともなった。</li> </ul>	
<p>共助②地域の特徴をいかしたまちづくり活動への協力</p> <p>○地域の特徴をいかしたまちづくり活動に協力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社協では「未定」となっている。</li> </ul>	
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共助①：今後も取り組みを継続していく。</li> <li>・共助②：第3次計画では「公衆衛生やリサイクル活動への協力、情報発信」に変更したいと考えている。(生活環境の項目なので)</li> </ul> <p>&lt;共助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みについて検討するが基本的に継続実施で掲げる</li> </ul>

<公助>

<p>公助①地域の公衆衛生や住環境保全対策の充実</p> <p>○地域の公衆衛生や住環境保全対策の一層の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活環境課では、美化活動や清掃活動、空き地の清潔保持のための啓発等を実施している。道路課では、道路の側溝清掃、路面清掃、除草清掃を行った。また、生活排水の流末処理を行った(今後も継続)。</li> </ul>	
<p>公助②公共施設や生活環境等のバリアフリー化</p> <p>○公共施設や生活環境等のバリアフリー化を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬長島サンセットパークにトイレ新設(多機能トイレ、オストメイト対応トイレ、バリアフリー化を実施)。</li> </ul>	
<p>公助③地域独自のまちづくり企画提案に対する助成等生活環境改善に対する支援</p> <p>○地域独自のまちづくりに対する企画提案に対し助成を行うなど、地域の生活環境改善に対する支援を行います。</p>	
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公助①・②：これまでの取り組みを継続して実施していく。</li> <li>・公助③：同様の内容が基本目標1「1-(2)地域活動組織の強化・育成」や、「2-(3)自治会活動の活性化」で示されており、ここからは削除したいと考える。</li> </ul> <p>&lt;公助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続実施で掲げる</li> <li>・公助③は他の項目で掲げる</li> </ul>

(点検4-2-2) 移動支援、交通安全対策の充実

< 共助 >

<p>共助①交通安全活動に協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域や関係機関と連携した交通安全活動に協力します。</li> <li>・春・秋の全国交通安全運動や、朝の交通安全指導を行っている。</li> </ul>	
<p>共助②買い物支援の在り方を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域と連携した買い物支援の在り方を検討します。</li> <li>・生活支援コーディネーターがミニデイサービス等で地域人材の把握・調査を行っている。</li> </ul>	
<p>考 え 方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの取り組みを継続して実施</li> <li>・共助②：買い物支援の実態把握を行ったところであり、これをふまえた方策について検討する必要がある。</li> </ul> <p>&lt; 共助 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続実施で掲げる</li> <li>・買い物支援は方策を示す</li> </ul>

< 公助 >

<p>公助①移送支援の仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○関係機関と連携し、多様な形態の移送支援の仕組みをつくります。</li> <li>・在宅で要介護認定を受けている人について、医療機関等に送迎する外出支援を行った。</li> </ul>	
<p>公助②交通安全に関わる施設の整備、活動充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○交通安全対策を推進するため、交通安全に関わる施設の整備、活動の充実に努めます。</li> <li>・横断防止柵、転落防止柵、ガードレール、道路反射鏡の設置等を行った。対策が必要な道路が依然としてある。対策が必要。</li> <li>年4回の交通安全運動や交通安全に関する標識の設置、シルバークレーンの新規設置や補修を行っている。地域別の課題や危険箇所の把握などが必要</li> </ul>	
<p>考 え 方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの取り組みを継続して実施</li> <li>・公助①：「市内一周バス」も実施している。</li> </ul> <p>&lt; 公助 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続実施で掲げる</li> </ul>

(点検4-2-3) 地域の防犯、防災対策の充実

<共助>

<p>共助①地域の自主防犯、自主防災組織の立ち上げ等に協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の自主防犯、自主防災組織の立ち上げなどに協力します。</li> <li>・防災をテーマとした福祉講演会を開催、防災関連グッズの展示、民生委員児童委員の災害被災地視察（自主防災組織の必要性について理解を深める）</li> </ul>	
<p>共助②災害ボランティアの育成と組織化に協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○災害ボランティアの育成と組織化に協力します。</li> <li>・社協で「実施予定」となっている。（災害ボランティアセンターのマニュアル作成中。）</li> </ul>	
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの取り組みを継続して実施</li> <li>・共助②：災害ボランティアの育成と組織化は社協が中心となって進めているので、「協力」ではなく「推進」にしたい。</li> </ul> <p>&lt;共助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続実施で掲げる</li> </ul>

<公助>

<p>公助①防犯、防災意識を高める啓発活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○防犯、防災意識を高めるための啓発活動の一層の充実に努めます。</li> <li>・総務課では、自治会に対し、自主防災組織立ち上げのための講演会実施。防災意識の低い地域への啓発活動が必要である。</li> </ul>	
<p>公助②防犯・防災の情報提供、地域の防犯・防災活動に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○防犯や防災に係る情報提供体制の充実に努めるとともに、地域の防犯、防災活動に対する支援を行います。</li> <li>・総務課では、自主防災組織に対する防災訓練実施の補助を交付。</li> <li>協働のまち推進課では、自治会が設置する防犯灯の設置費用補助を行っている。</li> </ul>	
<p>公助③災害時における避難誘導支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「地域防災計画」に基づき、災害時における避難誘導支援の充実に図ります。</li> <li>・総務課：地震・津波避難訓練において、各団体の避難経路を基に訓練を行った。防災マップの見直し、避難経路、避難場所等の検証を行う必要がある。</li> <li>学校施設課：学校施設は災害時の避難場所として指定されているため、必要に応じて関係機関と協力する。</li> </ul>	
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公助の中に、自主防災組織の組織化や育成などが必要と考える。（共助にあるので公助でも掲げるべきではないか）</li> </ul> <p>&lt;公助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容を充実しながら継続実施で掲げる</li> </ul>



## (点検4-2-4) 災害時要援護者支援対策の充実

### <共助>

	<p>共助①災害時要援護者の把握や情報更新、情報共有に協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○災害時要援護者の把握や情報更新、関係機関と連携した情報の共有化に協力します。</li> <li>・社協では、「実施予定」となっている。今後は、名簿の提供を受けて、避難支援プラン(個別支援計画)作成に取り組む。</li> </ul>
	<p>共助②自主防災組織と連携した避難誘導體制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の自主防災組織等と連携した、避難誘導體制づくりに協力します。</li> <li>・社協では、「実施予定」となっている。今後は、名簿の提供を受けて、避難支援プラン(個別支援計画)作成に取り組む。</li> </ul>
	<p>共助③災害ボランティアと連携した災害時要援護者ケア体制の調整</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○災害ボランティアと連携した災害時要援護者ケア体制に向けた調整を行います。</li> <li>・社協では、「実施予定」となっている。今後は、名簿の提供を受けて、避難支援プラン(個別支援計画)作成に取り組む。</li> </ul>
	<p>共助④災害時要援護者等への支援体制を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○関係機関と連携し、災害時要援護者等に対する支援体制を整えます。</li> <li>・社協では、「実施予定」となっている。今後は、名簿の提供を受けて、避難支援プラン(個別支援計画)作成に取り組む。</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の避難行動要支援者名簿の提供を受けた後、地域との協力により避難行動要支援者一人ひとりの個別支援計画作成を行っていくこととなる。</li> </ul> <p>&lt;共助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して掲げる。</li> <li>・市より登録者名簿の提供を受けた後、個別支援計画作成を進める</li> </ul>

### <公助>

	<p>公助①災害時要援護者支援計画を策定し、避難支援対策を充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「災害時要援護者支援計画」を策定し、災害時の避難支援対策の充実に努めます。</li> <li>・災害時に一人で避難できない人のための「災害時避難行動要支援者支援プラン(全体計画)」を策定した。</li> </ul> <p>障がい・長寿課は「実施予定」となっている。災害時避難行動要支援者名簿登録者への、名簿情報共有の同意を得ていく必要がある。</p>
	<p>公助②福祉施設等と協定し、避難場所の量的確保を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○関係機関や福祉施設等との協定に基づき、避難場所の量的確保を図ります。</li> <li>・避難所等の確保のため、福祉避難所の協定を締結した。総務課、障がい・長寿課ともに「実施予定」となっている(H28.12月時点。現在は実施。)</li> </ul>
	<p>公助③避難場所や避難経路の周知活動推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の避難場所や避難経路についての周知活動を推進します。</li> <li>・総務課は「実施予定」となっている。今後は、各世帯に避難場所等について配布することで、住民に対する災害意識の啓発を図る。また、地域ごとの防災マップ作成に努める。</li> </ul>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難行動要支援者の登録者名簿の情報共有に向けて進め、個別支援計画の作成を行う。作成においては、支援者の確保も必要となってくる。</li> <li>・平成25年6月の災害対策基本法一部改正により、「災害時要援護者」は「避難行動要支援者」と名称が変更された。市でも名称変更して取り組みに掲げていく。</li> </ul> <p>&lt;公助&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して掲げる</li> <li>・登録者名簿の情報共有を進め、避難支援対策を進める</li> </ul>

